

なつか

那珂川町郷土史研究会

探訪

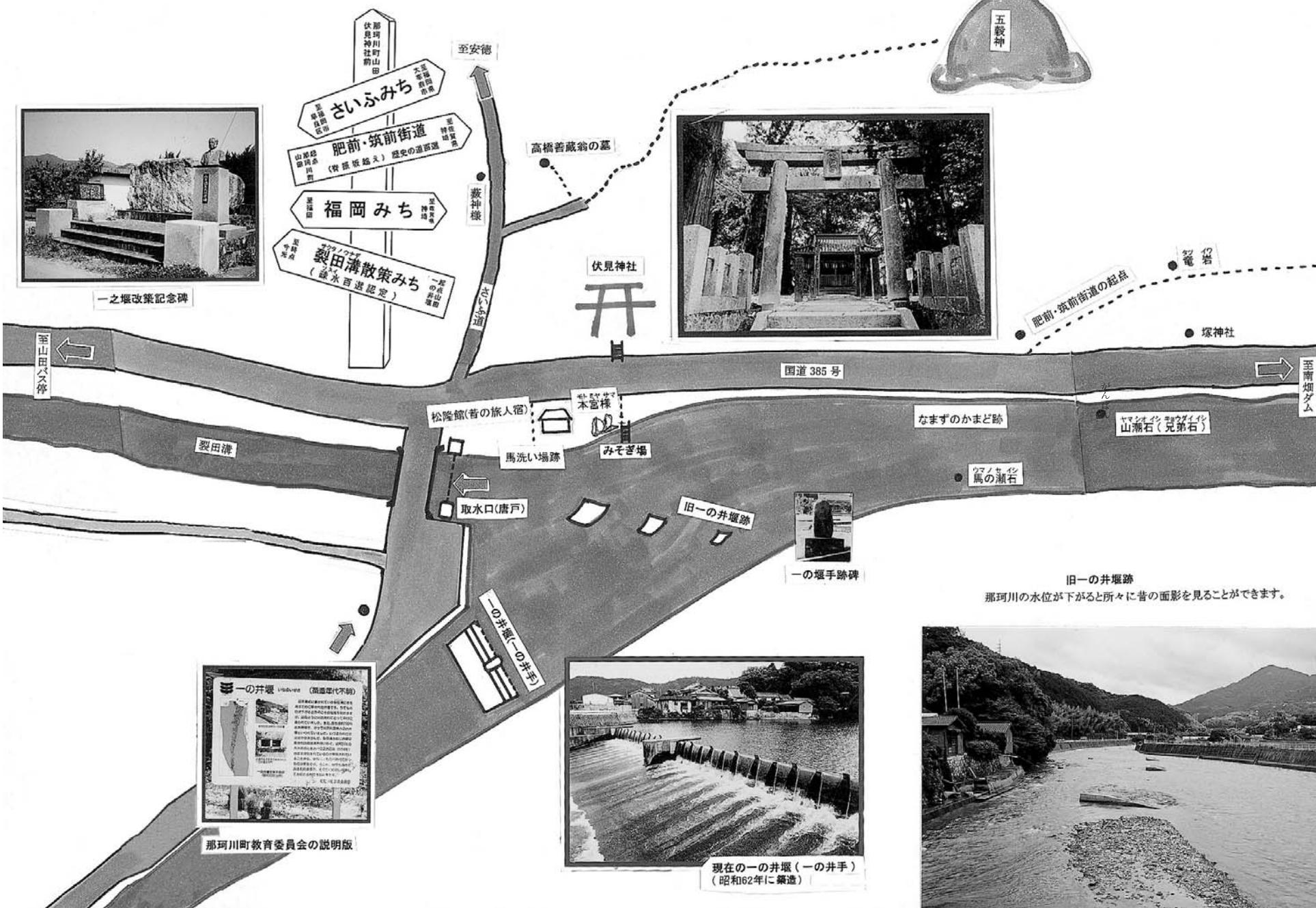
77

裂田溝4

募した結果、第1閑門を突破。第2閑門ではインターネットとハガキでの投票になり、郷土史会、町役場、その他町内外の方々にも呼びかけ投票を依頼しました。その結果、全国から約400カ所が応募した中、「疎水百選」に選ばれることができます。

できました。今年の3月1日に裂田溝組合に「疎水百選」の認定証が交付されました。県内では、他に「柳川掘割」「うきは市大石用水」「あさくら堀川用水」が選ばれています。また、裂田溝の取水口である一の井堰そば

の伏見神社前は、平成8年11月に日本歴史の道百選に選定された「肥前・筑前街道脊振坂越え」の起點でもあります。同じ場所が陸運と水運の全国の百選に選ばれたことは、町民として誇らしく思いますし、全国にそ



の名を広めるいい機会です。皆さんと一緒に、祝杯をあげたい気持ちでいっぱいです。乾杯！

「肥前・筑前街道」は、平安時代、肥前神崎から岩門（那珂川町）を経て博多に向かうルートでした。また、この道は伊能忠敬一行が、文化10年（1813）に測量調査した「福岡道」でもあります。さらに東西に交差する道は「さいふみち」と呼ばれ、昭和初期まで太宰府参りの道として賑わい、山田はこれらの道の要衝となっていました。ここで裂田溝に話を戻しますが、裂田溝の起点である一の井堰は、「日本書紀」によると裂田溝の取水口として築かれた井堰で、江戸時代には、筑前國最大の井手といわれていました。築造の年代は定かではありませんが、裂田溝と同時に築かれたものであろうといわれています。

次号からは、自然美豊かで多くの史跡が残る一の井堰周辺を紹介します。

※伊能忠敬
江戸時代後期に日本全土を歩いて測量調査して初めて正確な日本地図を作成した人